

JAC 埼玉支部 2023 年度秋山山行 報告

飯豊山 (2,105m) グレード☆☆☆

町田美春

- * 日 程 : 2023 年 9 月 16 日 (土) ~17 日 (日) 1 泊 2 日
- * 場 所 : 飯豊山 2,105m
- * 参加者 : CL 朝井 SL 町田 稲越 平本(真) 平本(美) 計 5 名
- * 行 程 : 登山口(御沢野営場)へはそれぞれで移動(車中前泊)
9/16(土) 5:36 御沢登山口→8:21 横峰→水場(水量確認)→10:12 剣ヶ峰→
11:00 三国小屋→13:00 切合小屋到着(泊)
9/17(日) 5:05 切合小屋出発(荷物は小屋にデポ)→6:55 本山小屋→
7:13 飯豊山山頂→8:00 本山小屋→9:33 切合小屋(荷物をまとめ)10:05→
11:46 三国小屋→13:57 横峰→16:11 御沢登山口→16:20 御沢野営場駐車場
- * 歩行時間 : 歩行時間 : 1 日目約 7 時間 30 分(休憩込) 2 日目約 11 時間強(休憩込)
- * 装 備 : 避難小屋泊装備 食料(1 日目の朝昼・2 日目の昼)行動食、非常食、
飲料水 2.5L 以上、プラティパス、シュラフ、マット、ヘッドランプ、雨具、
ゲイター、着替え、ザック内の防水袋等、携帯電話、モバイルバッテリー

* 行程概要 :

9 月の連休に秋山山行で飯豊山を計画していましたが、今年は例年がない水不足ということで、小屋の管理人さんから再検討をとの連絡が来ました。当初の予定では、切合小屋と三国小屋の避難小屋の 2 泊でかなりゆとりをもった日程で計画を立てていました。

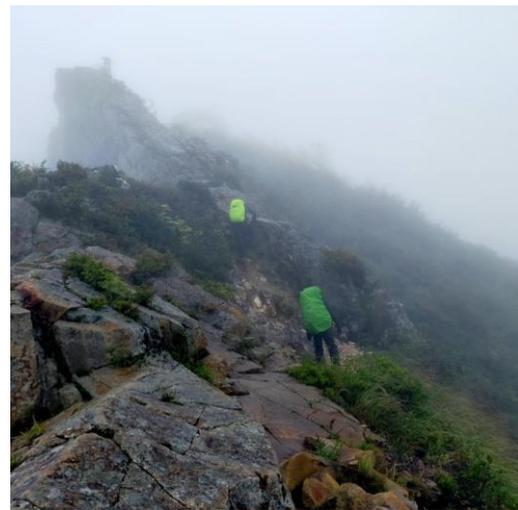
水不足という大きな課題を課せられ、参加者で何度かオンラインで討議を重ねました。ルート上での水場状況や小屋での飲料販売の有無を確認し、その結果、行きに 2.5L 以上の水を持ち切合小屋に 1 泊で食事付きにし、ルート上の水場状況を確認しつつ小屋近くの水場で翌日分の水を確保することで山行実施を決めました。また、週間天気予報とのにらみ合いで、当日雨天ならば飯豊山山行は中止とすることとし、代替山行の話題も取り上げられました。

天気予報で当日は雨の可能性もありましたが、大雨とかではなさそうということで、参加者はそれぞれ登山口駐車場に向かい車中泊をしました。夜半過ぎにかなりの雨が降りましたが、朝にはほぼ止み気持ちよくスタートができました。



横峰を過ぎ最初の水場は程よく水が出ていることを確認、水を汲む長い列ができていました。天候は晴れ間が見えたり急に霧で周囲が見えなくなったりととても不安定だったため、早めに切合小屋に到着できるよう行動しました。残念ながら岩場手前辺りで雨

が降り出し、滑らないように慎重に足を進めました。剣ヶ峰の岩場は、岩の形状が平らで滑り易くとても怖かったです。



三国小屋でトイレタイムを取りほぼ予定通りに切合小屋に到着しました。雨は止み小屋から20分ほど下った先に沢があり、そこに水汲みに行きました。見た目はきれいですが汲むと黄色味を帯びた水で浄水器を持参してくれたことに感謝しながら、それぞれが水を確保し翌日の登頂に備えました。

翌日は晴れましたが天気は崩れる予報だったため、午前中勝負で荷物を小屋にデポし朝早く山頂を目指しました。



飯豊山の素晴らしい稜線を眺めながらピークを踏み、ガスが上がってくる前に写真撮影を済ませ、早々に本山小屋に戻りました。リサーチ済みの飲料を購入し早めに切合小屋に戻り荷物をまとめ10時過ぎには出発しました。

剣ヶ峰の岩場で雨に降られるととても危険であり、雨が降り出す前に岩場を通過したいと早め早めの行動で下山しました。幸い雨に降られることなく岩場を通過できホッとしました。

前日水量を確認しただけで通り過ぎた水場で、冷たくて美味しい水で喉を潤しゴールを目指しました。

登山口にほぼ予定通りに着き、駐車場で荷物を積み乗車すると同時にものすごい勢いで雷雨がありましたが、濡れることなく近くの温泉で汗を流すことができました。

***参加者の感想：**

【朝井紀久子】

思った以上に、すごい岩道が最高に楽しかったです！ 去年、個人山行で飯豊山に初登頂した際は弥平四郎ルートで、三国小屋までは普通の山道でした。一方、岩場のある川入ルートはとても気になっていたので、今回、早々に試みる機会を得て有難かったです。心配だったのは雨ですが、見事に登りで雨（笑）。しかしながら、参加者の皆さん、慎重に安全に通過され、本当に良かったです。更に皆さんの運で、翌日の登頂では見事に晴れて、開けた大空のもと稜線を歩け感無量でした。今回は、山域の低雨量による水場枯渇が、大きなテーマとなりました。頭を抱える中で、参加者の皆さんの協力は大きかったです。事前リサーチの積極的な協力、現地での水ろ過道具提供、詳細な天候分析、そして楽しい会話、足並みを揃える努力や互いの優しさ。貴重な体験と山友を得た気持ちです。有難うございます！

【稲越洋一】

東北の名山「飯豊山」と言えばアプローチの長い山というイメージがありますが、山行計画見て山小屋泊（食事有り）+避難小屋泊という2泊3日の行程を考慮し参加を決めました。ところが飯豊山の小屋は水提供無し/水場が枯れている、という情報が入り、CL/SLの事前情報確認や計画変更（1泊2日）等、大変ご苦勞を掛けた事に感謝いたします。初日の御沢登山口から切合小屋までは雨模様で、特に三国小屋手前の剣ヶ峰（岩場）では斜めになった一枚岩が濡れて滑りやすく緊張を強いられました（滑ったら滑落）。翌日は奇跡的な晴れの中に山頂を踏み、雲や霧が徐々に覆う中、懸念していた剣ヶ峰も岩が乾いていたため難なく通過し無事下山できました。全行程を通して、参加者とのコミュニケーションや協調ある行動が安全登山に繋がる事を実感した、記憶に残る山行となりました。

【平本真二郎】

二人（夫婦）だけでは到底登れないと思っていた飯豊山でしたが、支部山行の案内があり直ぐに参加のお申込みを行いました。登山当日は、水不足が心配される中で3.5Lの水を背負い宿泊する山小屋まで辿り着きました。翌日5時スタートで頂上を目指す中で、周りの稜線を気持ち良く見ながら山頂へ到着しました。周りの飯豊連峰が全て見え最高の景色をメンバーと分かち合いました。今年最高の山行となり有難うございます。

【平本美恵子】

大きくて深い飯豊山、個人で行くにはかなりハードルが高くて無理かなと思っていました。今回のコースで登山口や小屋のこと岩場などを調べていくうちに行けるかもに変わりました。ただ予想外の、水場の枯渇で水の補給ができないという問題がおりましたが、参加者全員でZoomにて直接やりとりが出来た事でとても安心して行くことができました。行程が長く危険な箇所もありましたが休憩ごとに笑いが絶えない最高に楽しい山行でした。ありがとうございました。

【町田美春】

水不足という非常事態ではありましたが、いつかは行ってみたいと思っていた飯豊山に無事登頂できたことは、自信につながりました。初めての避難小屋泊を体験できたこと、水を含めた重い荷物を背負いロングコースを歩き続けたこと、岩場では雨に降られ滑りやすい状況だったこと等全てが良い経験となりました。不安定な天候ではありましたが、山頂では絶景を堪能できました。皆さんのお陰で楽しい山行となりました。ありがとうございました。